



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。

日本共産党荒川区議会議員 斉藤くに子 区政ニュース

メール: arajcp@cn-catv.ne.jp 区議会: <http://www.jcp-arakawakugidan.jp/>
くに子ブログ: <http://s-kuniko.jugem.jp/>



2024年9月1日 No.1362

区役所直通 3802-4627

fax 3806-9246



みんなで考えたい！！ どうする地域公共交通

墨田区

財政負担と利用者実態調査を
～しっかり行っている～

墨田区の区内循環バス事業の取組みを調査してきました。

墨田区が運行するコミュニティバス「すみだ百景・すみまるくん・すみりんちゃん」は2012年3月20日運行開始。押上駅を起終点として、区役所・区施設・病院・大規模商業施設・観光名所を循環する3ルート。

当初の想定利用人数4500人(一日あたり4500人)が3300人と下回っていますが運営費不足分は墨田区が財源補填(右記)を行っていますので、運行事業者の京成バスから廃止の提案はありません。



コミバス運行事業費(決算額)	
2019年度	97,461,692
2020年度	136,315,655
2021年度	140,931,000
2022年度	167,192,377
2023年度	182,144,114

2013年にも調査を行っていますが、2021年度には平日と休日の一日ずつ全ルート始発から最終便までの全便を対象に調査員を配置し、調査票を配布して降車時に回収する『利用者アンケート』(回収率74%・76%・80%)を行って状況を把握しています。

2021年調査結果から

①区内循環バスの目的の一つに区内観光を考えたが、利用目的は通勤通学・買い物などの利用が多く、観光目的は休日でも5%程度

②平日・休日ともに利用者の8割以上が区民の利用

③平日は週2～4日、休日は月1回程度の利用が最も多い

④休日の早朝・夜間の利用は低調

墨田区でも、やはり区民の生活の足としてコミバスが使われています。

現在では地域公共交通計画策定のために5300人の区民アンケートや区内交通の基礎調査も行い、福祉環境教育街づくり分野、鉄道バス、タクシーなど交通事業者37名で構成する策定協議会を開催中。区議会でも地域公共交通等調査特別委員会を設置し審議を行っています。

荒川区は区民目線がありません！主体性がありません！お金を出す気がありません！

これで本当にいいのでしょうか？地方自治体としてのあり方が問われます！！



★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談 第四月曜日が休日のため

9月24日(火) 18時～

★8月の定例は夏休みではありません。

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活困窮は随時随時対応します。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

定例法律相談は予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

事前にご連絡ください。

葛飾区

運転手の時間外労働の上限規制により1人あたりの働く時間が減り、運行ダイヤ維持のために

はこれまで以上にバス運転手が必要になってきます。

人手不足が加速する「2024年問題」の対策として、葛飾区は区内に営業所を構えるバス事業者の支援を行うために6月区議会で3,500万円の補正予算を決めました。

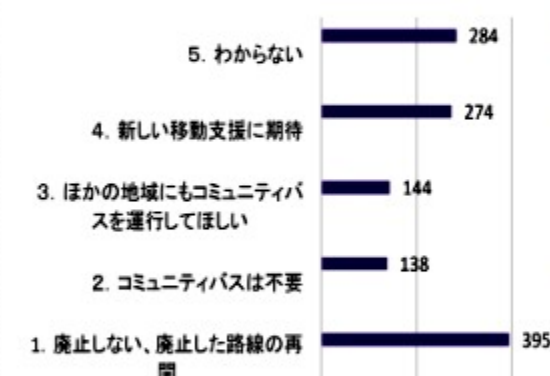
コミバス継続のためには運転手問題も避けて通れませんが、荒川区は現在のところ考えていないようです。



23区初区内！バス事業者への支援

住居手当・借上住宅補助 (2,016万円)	区内に営業所がある京成バスや東武バスなどの運転手に一人月額2万円を上限に事業者に助成
人材募集PR等実施事業補助 (1,191万円)	ネットや情報誌などへの求人広告掲載、チラシポスターの製作、採用イベント開催や採用セミナー出展などへの費用助成
女性運転手採用強化支援補助 (230万円)	更衣室休憩室の整備など快適な環境づくりや女性運転手確保の取組みに対して1/2助成

コミバスについて聞きました



荒川区も地域公共交通計画を策定し、コミバスはどう位置付けるのか総合的な検討を行うことが「廃止・縮小・値上げ」より先です。

また地域交通政策検討区民会議などを設置し、区民と共に検討することも必要だと思いますが如何でしょうか。

日本共産党荒川区議会議員団は毎年、区民アンケートの全戸配布を行い、皆さんからの要望をお聞きしています。

第32回のアンケートではコミバスについてもお聞きしました。

8月25日現在の集計では1235の回答のうち、「廃止しないで・再開して」32%・新しい移動支援を22%「他の地域にも運行を」12%「コミバス不要」11%となっています。「わからない」との回答も23%ありました。

「創業するなら荒川区」をめざし 区内産業・経済活性化対策を

荒川区産業振興基本条例は「地域経済が区民生活の礎」「区内産業の発展、地域経済の活性化及び雇用の創出を促進」などを目的にしています。

しかし、最近の統計を見ても地域経済の主役である中小企業、その中心である製造業と商業の減少が止まりません（事業数は下表参照）。また減少したといっても従業員数で製造業約8500人、商業1万6千人と区内雇用の中心です。製造業＝ものづくり、商店街・個店の再生は、活気があり、人にやさしい荒川区をつくる重要な課題です。

そのためには、地域経済の基盤としての産業集積をしっかり守る支援強化とともに、荒川区内で新たに事業展開するための創業支援の抜本的強化が必要です。

製造業等企業価値向上支援事業								
	2022年度			2023年度			2024年度 (※1現在交付決定ベース)	
	交付 件数	補助対象額 (千円)	補助金額 (千円)	交付 件数	補助対象額 (千円)	補助金額 (千円)	交付 件数	補助対象額 (千円)
生産性向上 (製造装置等)	36	190,042	45,855	41	235,701	46,792	17	115,368
女性活躍整備(女 性用のトイレ等)	3	4,500	1,427	3	16,635	2,047	1	2,409
ICT導入 (ECサイト等)	3	11,897	3,628	4	40,349	2,916	4	6,503
計	42	206,439	50,910	48	292,686	51,755	22	124,280
【対象者要件】中小企業者、区内事業継続年数3年以上 【補助内容】(一般)補助率1/4、上限額100万円(特例)補助率1/3、上限額300万円=経営革新計画の認定								



「ふらっとにっぽり」創業支援を他産業にも
ふらっとにっぽりでは、イデタチ東京=インキュベ
ーション施設、ワーキングスペース、「ものづくり工房」
が設置され、繊維・ファッション関連を中心に新たな創造空間が生まれま
した。これを他産業にも広げて行くことができないでしょうか。

産業振興プラン策定を

街から商店も銭湯もガソリ
ンスタンドもスーパーも姿を
消し、マンションや戸建は増
えています。モノづくりの
後継者不足も深刻です。区内
産業分析に基づき、産業振興
基本条例の具体化で「産業振
興プラン」を策定し、生活を支える街づくりをすすめる必要があります。

「ふらっとにっぽり」における創業支援事業				
	2021年	2022年	2023年	制度概要
ツムギバ (ワーキングスペース)	113名	302名	597名	無料で利用可能な ワーキングスペース (ふらっとにっぽり3階)
イデタチ東京 (ファッションインク ベーション施設)	全9室満室			ふらっとにっぽり内施設 (ファッション関連で起業 する方への支援施設)
※イデタチの入居期間は3年間(個室月5万円、シェアオフィス1万円)				
これまでの卒業生9事業者中7事業者が区内で事業展開				
退去後に区内事業所を借りた場合月5万円の家賃補助を2022年から実施				

荒川区の産業について			
	2016年経済 センサス	2021年経済 センサス	区の調査 営業中
製造業	1711	1304	1102
小売・卸	2241	2018	1021
飲食	1010	810	426
全産業計	9060	8346	
※区の調査営業中=製造業2021年、小売・卸 2022年…区の調査結果より ※経済センサスとは 国が行う全産業調査 (5年後と実施)			

設備投資への

区独自補助の拡充を
生産性向上の設備投資補助の
上限100万円(特例300万円)の拡
充、創業時にも適用できるよう
にすることです。区内事業者を
使った場合には、さらに補助率
と上限を引き上げることも提案
しています。



9月議会が始まります



10日から10月7日までの予定で開催されます。

日本共産党は斉藤・横山・相馬の3人が本会議質問を行う準備をすすめています。皆さんから寄せられた区民アンケートの

9月会議日程

9月 9日(月)10:00~幹事長会 11:00~議会運営委員会
10日(火) 9:30~全員協議会 10:00~本会議
11日(水)10:00~本会議
13日(金)10:00~総務企画委員会、福祉区民生活委員会
17日(火)10:00~文教子育て支援委員会、建設環境委員会
19日(木)20日(金)24日(火)25日(水) } 決算特別委員会
26日(木)30日(月)10月1日(火)10:00~
10月 4日(金)10:00~幹事長会 11:00~議会運営委員会
7日(月) 9:30~全員協議会 10:00~本会議

要望やご意見もぜひ生かして議論を展開したいと思ひます。

引き続きご意見
ご要望をお寄せく
ださい。

議会傍聴にもぜひおいてください。

☆9月会議の提出案件

総務 企画	・一般会計補正予算(第2回)	42億8,600万円を補正 (補正後予算額:1240億132万9千円) 新型コロナウイルス及びインフルエンザワクチン接種75才以上の無料化 決算剰余金を基金に37億7,937万円など
	・職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正	職員が外国勤務等となる配偶者と外国生活を共にする場合に3年を超えない範囲で職員身分保持して休業可能に
	・職員の高齢者部分休業に関する条例	60才に達した常勤職員で1日2時間を超えない範囲で加齢による諸事情への対応や地域貢献活動への参加休業を新設
子文 育教 で・	・指定管理者者の指定	総合スポーツセンター→荒川スポーツマネジメント共同事業体(株)東 京アスレティッククラブと三菱ビルテクノから(株)東急コミュニティー 南千住保育園→上智厚生館からHITOWAキッズライフ(株)に指定変更
区福 民社	・国民健康保険条例の一部改正	被保険証の廃止に伴う規定の整備等
	・指定管理者者の選定	東部在宅高齢者通所サービスセンター及び老人福祉センター→(社)幸 優会・西口若里ふれあい館→(学)道灌山を引き続き指定
決 算 特 別	・2023年度決算	一般会計 歳入決算1,221億円 歳出決算1,178億円 翌年繰越財源2億7,900万円 差引額39億5,529万円 国民健康保険特別会計 歳入決算230億 歳出決算226億 差引3億 後期高齢者医療特別会計 歳入決算54億 歳出決算53億 差引16400万円 介護保険特別会計 歳入決算190億 歳出決算185億 差引5億3,900万円

お米が買えない!値上がりしている!区部の消費者物価
指数の2024年7月分(中旬速報値)は、総合指数の前年同月
比が2.2%の上昇。35か月連続のプラス。生鮮果物は8.0%、
電気代は19.7%、ガスは11.6%の上昇。
私たちの区民アンケートでも

「2023年度決算剰余金37億8千万円は基金積立」ではなく、
思い切った暮らし経済応援の緊急補正予算を提案すべきだっ
た思います。

